

今週の株式相場見通し

* 日経平均 22,100~23,000円 TOPIX 1,670~1,740

* 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善

* 不安材料 貿易摩擦激化 地政学的リスク 中国経済の成長鈍化

米国 S&P500、ナスダック総合はアップルやアマゾン、マイクロソフトなど IT セクターをけん引役に 8 月末に最高値を更新。先週 4 日に発表された米国の 8 月 ISM 製造業景況指数は 61.3 となり、04 年 5 月以来の高水準になった。新規受注指数が 65.1、生産指数が 63.3 と拡大縮小の境になる 50 を大きく上回る水準へ上昇。ユーロ圏、中国、日本の景況感が減速するなかで、米国の製造業は一人勝ちの様相を呈している。8 月の消費者信頼感指数も 2000 年 10 月以来の高水準になり、7 月の小売売上高は 3 ヶ月平均、年率の成長率が今年の最高値となった。アトランタ連銀の GDPNow では 7-9 月期の実質 GDP 成長率は前期比年率 4.4%と高い伸びが見込まれており、景気拡大を背景に米国株は今後も堅調な推移が見込まれる。一方、日経平均株価は 23,000 円で跳ね返される展開となっているが、23,000 円近辺での推移が維持できれば、突破のチャンスも近々廻ってくるものと思われる。当面は 23,000 円突破を期待しつつ、個別物色に注力したい。投資対象としては、半導体の複雑化・高度化によりテスト需要が増加しているアドバンテスト、メモリ向け投資の中長期的拡大が期待される東京エレクトロン、FA 機器とパワー半導体が好調な富士電機、訪日外国人向け WiFi レンタルのビジョン、ネット広告配信事業が好調なソネット・メディア、ジーニー、オンライン航空券の取扱高が急増しているアドベンチャー、M&A や提携策で業績拡大に加速感が出ているエポラブルアジアなどに注目したい。(9月6日現在、松本 直志)

今週の予定

	国内	海外
9/10 (月)	4-6 月期 GDP 改定値 (8:50) 8 月景気ウォッチャー調査 アンチエイジング ジャパン (~12 日)	[中]8 月消費者物価指数 (10:30) [露]安倍首相 訪露 (~13 日) [露]日露首脳会談
11(火)	8 月マネーストック (8:50) 国際物流総合展 2018 (~14 日) サッカー 日本代表国際親善試合	[独]9 月 ZEW 調査 (18:00) [露]東方経済フォーラム (~13 日) [露]軍事演習 ポストーク 2018 (~15 日)
12(水)	7-9 月期の法人企業景気予測調査 第 1 回 医療と介護の総合展 (~14 日) 自動認識総合展 (~14 日)	[米]アップルがイベントを開催 [米]連邦議会予備選挙 (ロードアイランド) [米]連邦議会予備選挙 全日程終了
13(木)	7 月機械受注 (8:50) 東京ドーム (9681) 2Q 決算 沖縄県知事選 告示 ウズベキスタン投資促進セミナー	[欧]ECB 理事会 [トルコ]中銀 政策金利発表 (20:00) [米]8 月消費者物価指数 (21:30) [英]合意なき EU 離脱に備えた危機対応の閣議
14(金)	メジャー SQ 任天堂 ニンテンドーラボ第 3 弾発売 位置情報・ビッグデータカンファレンス	[中]8 月鉱工業生産 (11:00) [中]8 月小売売上高 (11:00) [米]8 月鉱工業生産 (22:15)
15(土)	築地市場 マグロ卸売場の見学終了	[米]リーマン・ブラザーズ破綻から 10 年
16(日)	歌手の安室奈美恵さん引退	[独]ベルリン・マラソン
17(月)	敬老の日	[オーストリア]IAEA 総会 (~21 日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

村田製作所 (6981) 東証1部



	17年3月期 (百万円) 前年比	18年3月期 (百万円) 前年比	19年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(9/6)	18,665 円
売上高	1,135,524 -6.2%	1,371,842 20.8%	1,575,000 14.8%	業種	電気機器
営業利益	201,215 -26.9%	162,146 -19.4%	240,000 47.0%	売買単位	100 株
税引前利益	200,418 -28.2%	167,801 -16.3%	242,000 44.2%	PER(予想)	22.1 倍
純利益	156,060 -23.4%	146,086 -6.4%	180,000 23.2%	PBR(実績)	2.7 倍
EPS(円)	733.9	685.9	844.1	ROE(実績)	10.4 %
配当金(円)	220.0	260.0	280.0	配当利回り(予想)	1.5 %
				担当	多功 毅

出所：業績に関する数値は決算短信より

1Q決算は北米大手スマホメーカー向けが低調に推移したものの、セラミックコンデンサが中国系スマホや電装化の進む車載用途を中心に好調に推移しており、前年比25.7%増収、15.2%営業増益での着地となった。2Qについても、北米スマホメーカーの新モデル立ち上げに伴うハイエンド部品の需要増加、昨年モデル向けでは歩留り問題から大幅な赤字となった樹脂多層基板メトロサークの生産性改善に伴う収益貢献化が見込まれる。さらに4Q以降については、セラミックコンデンサの値上げ効果の貢献も見込まれる。当社はセラミックコンデンサのトップメーカーとして、供給責任の観点から不採算、低採算なローエンド品のラインナップを維持してきたが、需給逼迫を受けて台湾の競合メーカーが大幅な値上げを進めており、当社もローエンド品を中心に価格是正を進める方針。

中長期的な観点では、電装化の進展が著しい自動車向けにセラミックコンデンサやMEMSセンサーを中心とした部品の成長継続が見込まれる。また、現状では北米メーカー向けに限定的に供給しているものと推察されるメトロサークの他メーカーへの拡販、ソニーから買収した電池事業について生産、開発、販売など多岐に渡るシナジー効果の発現による収益改善が進む可能性が高いものと想定している。さらに20年に向けては5G対応スマホ向けにミリ波制御用のアンテナモジュールの成長についても期待される。今期業績の改善基調の継続、中長期的な事業拡大への期待の両観点で注目したい。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(9/6) 売買単位	コメント
スタート トゥデイ (3092) 東証1部 3,475円 100株	1Q決算は前年同期比23.8%増収、26.4%営業減益、商品取扱高は18.2%増加。ブランドクーポンの効率化やセールイベントの実施、新規ブランドの出店により売上は伸びたが、ゾゾスーツの配布費、配送費、従業員数の増加、拠点拡充により減益になった。ゾゾスーツは7月31日時点で1,128,333枚を配布。1ヵ月60万枚程度を配布できる体制が整い、年間では600万枚配布が目標。ネクタイ、ポーターTシャツ、長袖TシャツなどへPBの展開を拡大。靴のPB投入に向けた研究開発にも取り組んでいる。(松本 直志)
アイスタイル (3660) 東証1部 1,237円 100株	18年6月期決算は前年同期比50.7%増収、45.0%営業増益。化粧品の小売り販売やEC、中国向け越境ECが大幅に成長した。広告売上げが伸び、@コスメは前年同期比7.2%増収、化粧品小売りは38.2%増収、中国向け越境ECなどグローバル事業は売上が2.6倍になった。今期は前年同期比26.8%増収、15.3%営業減益計画。@コスメで初のユーザー向け大規模プロモーションを行うことで減益計画だが、20年6月期の投資回収を狙っている。(松本 直志)
マーク ラインズ (3901) 東証1部 1,734円 100株	上期決算は前年同期比24.7%増収、32.4%営業増益。情報プラットフォーム事業の契約企業数が増えたことやコンサル、人材紹介、市場予測などその他事業に対する需要も拡大。情報プラットフォーム事業は中国、アジア、欧州などで契約社数が伸び前年同期比15.0%増収、EV化やコスト比較などの案件が増えコンサルは60.1%増収、電動車やエンジン・トランスミッション、電動車の台数予測情報などが好調で市場予測は68.0%増収になった。(松本 直志)
ダイキン (6367) 東証1部 13,835円 100株	1Q決算は、空調機器が販売網拡充や差別化製品の投入効果により各地域で好調に推移したことに加えて、化学品事業も好需給を背景に売価が想定を上回ったこともあり、前年同期比12.0%増収、11.7%営業増益での着地。2Q以降については世界各国で問題となった猛暑に伴い想定を上回る拡販効果の寄与が見込まれる一方、米中貿易摩擦、中国不動産市場の先行き不透明感等のリスク要因があるため、期初に公表した通期計画を据え置いている。(多功 毅)
太陽誘電 (6976) 東証1部 3,215円 100株	1Q決算は、コンデンサやフェライト及び応用製品が好調に推移し、前年同期比10.2%増収、75.3%営業増益で着地。2Qに向けても、コンデンサが自動車向けや新型スマホ向けに好調に推移することを見込み、また2Qの為替前提を110円に修正したことに伴い上期及び通期営業利益計画を同額上方修正。下期は経済環境や為替動向が不透明とのことで期初計画を据え置いたが、コンデンサの値上げ効果が3Q後半から寄与することが見込まれ、再増額が期待される。(多功 毅)
ワークマン (7564) 東証JASDAQ 6,680円 100株	1Q決算は、引き続きPB中心に既存店売上高が好調に推移しており、前年同期比6.1%増収、14.0%営業増益で着地。通期の3.3%増収、5.4%営業増益計画を据え置いているが、保守的計画と思われ上ブレ着地が期待される。アウトドア、スポーツ関連のPBブランドが機能性とお買い得感が支持され成長中。現在、需要予測発注システムを導入中で、先行して導入した103店では平均して売上高5%の上昇実績。全店舗数は822店であり、発注システムの展開も今後の既存店売上高の押し上げ要因となる可能性が高いものと思われる。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室